

## ガーナ、ワクチン未接種者を乗せた船舶に罰金を科す

こちらは、英文記事「[Ghana to impose fines on ships with unvaccinated personnel](#)」（2022年1月11日付）の和訳です。

ガーナ保健サービスが発出した最近の指針によると、ガーナに寄港する船舶の船員や乗客に新型コロナワクチンの未接種者がいた場合、罰金が科される予定です。



Gard の現地コレスポンデントの Sheringham P&I Services によると、ガーナ港湾保健サービスは、新型コロナワクチン未接種の船員や乗客を乗せて

寄港した船舶に対して、3,500米ドルの罰金を科す予定とのこと。この指針は当初、2022年1月15日から施行される予定でしたが、船員にワクチン接種を受けさせるための十分な時間を確保できるように猶予期間が設けられることが決まっており、実際の施行日は未定となっています。

### 罰金は船舶1隻当たりか、ワクチン未接種者1人当たりか？

指針では明確にされていません。3,500米ドルの罰金が、ワクチン未接種者数に関係なく船舶1隻当たりなのか、ワクチン未接種1人当たりなのかの確認を、現在コレスポンデントに要請しているところです。

### ワクチン未接種者はどのような扱いを受けることになるのか？

罰金の支払い後、ワクチン未接種者は全員、ガーナの保健当局からジョンソン・エンド・ジョンソン社のワクチン接種を受けることになる見込みです。ただし、ワクチン接種に係る手順などの詳細はまだはっきりしていません。この点についての確認をコレスポンデントに要請中です。また、報告によると、船員全員のワクチン接種が済むまでは検疫済証が発行されない可能性があり、結果として、本船の遅延が生じる可能性があるとのこと。

### ガーナ当局から有効と認められているワクチンはどれか？

[世界保健機関 \(WHO\)](#) または [ガーナ食品医薬品局 \(FDA\)](#) のいずれかが承認済みのワクチンであれば、ガーナ当局から有効と認められます。WHO と FDA が承認するワクチンは異なる可能性があります。WHO が承認するワクチンは世界中の様々な港で受け入れられる可能性が高いため、船員

には WHO が承認するワクチンのいずれかを接種させることが船主と傭船者双方にとって有益と考えられます。

### この指針は交代船員にも適用されるのか？

交代船員がワクチン未接種の場合、ワクチン接種を免除される正当な医学的根拠がない限り、全員が到着時にワクチン接種を受けることになるとのことです。ただし、そうした状況が発生する可能性は低いと考えられます。というのも、ガーナ保健サービスが 2021 年 12 月 9 日に発出した「[国際旅行者のための COVID-19 プロトコル](#)」では、空路でガーナに入国する乗客は全員、例外なく、ワクチン接種済みであることが必須とされているためです。また、2021 年 12 月にガーナは、ワクチン接種を完了していない乗客を乗せてガーナに到着した航空会社に罰金を科すことを発表しています。そのため、航空会社も搭乗前にワクチン接種証明書を確認することになると考えられます。

### P&I クラブカバー

船員のワクチン接種に関する P&I 保険カバーについては、国際 P&I グループが作成した FAQ が参考になります ([こちらから参照できます](#))。また、船員のワクチン接種については、国際海運会議所 (ICS) 発行の「[Coronavirus \(COVID-19\): Legal, Liability and Insurance Issues arising from Vaccination of Seafarers](#) (新型コロナウイルス：船員のワクチン接種から生じる法的、責任、保険の問題)」も参照ください。船員にワクチン接種を義務付けることが可能かどうかの見解が記載されています。

ガーナへの寄港を予定している場合、遅延等の問題を回避するため、乗員が新型コロナワクチンの接種を完了しており、接種証明書を携行していることを確認することをお勧めします。また、ガーナに寄港する前に、ガーナ保健サービスが発出した指針についてより詳しい情報を現地代理店に問い合わせるようにしてください。

本記事は、BUDD Group と Gard のコレスポンデントである Sheringham P&I Services からの情報に基づいて作成したものです。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。